

リン酸鉄リチウムイオンバッテリー取扱い使用上のご注意

令和5年9月1日 改定版

【蓄電システム.com】

記

このたびは、【蓄電システム.com】から、リン酸鉄リチウムイオン(Lifepo4)バッテリーをお買上げいただきまして誠にありがとうございます。(14500、18650、26650、32650 規格等の棒電池は除きます)

当店で販売する各種リン酸鉄リチウムイオンバッテリーパック(鉛バッテリー型)、ポータブル型リン酸鉄リチウムイオンバッテリーにつきましては、基本的に当店で販売している適合を謳った「ソーラーパネルまたは専用充電器＋ソーラーチャージコントローラー＋DC-AC インバーター」を使用した充放電環境に対し、内蔵された BMS 回路等が最適化されている製品です。

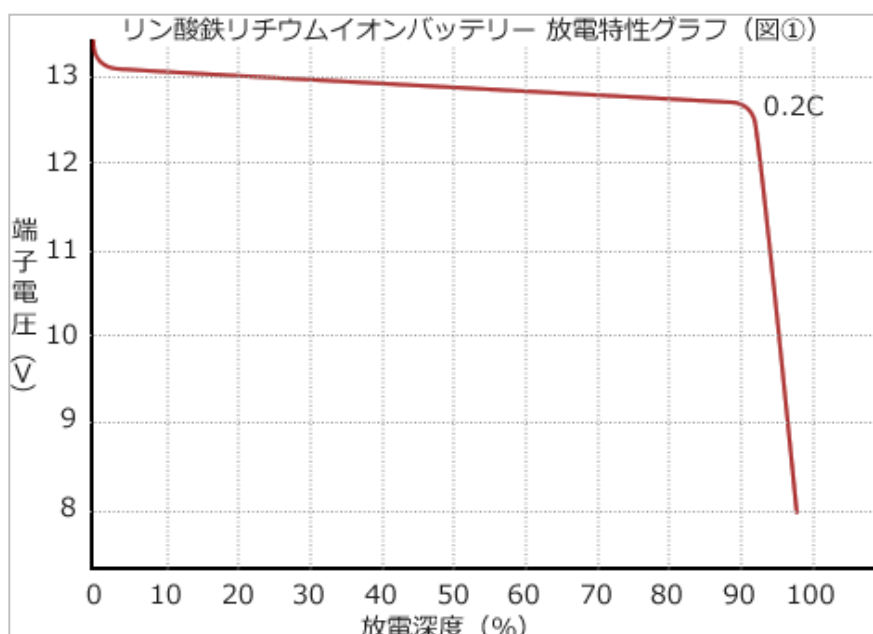
したがって、他社販売製品(インバーター、チャージコントローラー)との適合性、また水力発電、風力発電等における特別な充電コントローラーを使用した環境ほか、独自回路を付加した充放電環境においては、BMS 等との相性問題が生じる可能性もあり、使用者の想定する動作保証につきましては、当店では一切担保しておりません。

ソーラー蓄電システムの蓄電バッテリーとして使用されることが目的である場合は、必ず当店で販売している接続機器として動作保証のある機器をお使いください。

(製品仕様)

1、O' cell 製リン酸鉄リチウムイオンバッテリー(BMS 搭載製品)

- ・セル仕様 26650 規格 3.2V、3.4Ah 単セル組電池
- ・過充電保護遮断電圧閾値 15.2V(12.8V 時)※電圧仕様の異なる製品は整数倍にしてください
- ・過放電保護遮断電圧 8.0V ※電圧仕様の異なる製品は整数倍にしてください(単セル:2.0V 以下で遮断)
- ・最大充放電電流値 1C 以内
- ・サージ許容電力 2C(0.9 秒:最大)
- ・直列適合性能 直列接続はできません
- ・並列接続適合性能 6 並列まで(最大充放電容量は何並列でも「1C」まで)
- ・放電特性 充放電特性グラフを参照ください



(過放電保護遮断回路が動作したときの復帰方法)

負荷出力中に各仕様値の電圧を下回ったときは、バッテリーを過放電から保護するために「直ちに出力を停止し遮断状態」となります。

通常、負荷出力中は「電圧降下現象」により、保護遮断設定閾値となる「8.0Vまたは9.6V」以上の電圧で実際は遮断されますので、チャージコントローラー・インバーターなどの接続をすべて開放して、10分程度待てば自然に内部リレーが開放されます。(8.0Vまたは9.6V以上に戻る)

しかしながら、負荷出力容量の値が小さければ小さいほど電圧降下が小さいため、自然に電圧が復帰回復することはない、「専用充電器」を使用しなければなりません。

上記「専用充電器」とは、全自動充電器等と呼ばれているリアルタイムの電圧値を測定してから充電を開始する製品ではなく、強制的に電圧を印加できるタイプでなくてはなりません。(安定化電源等)

充電の際にはバッテリー端子のすべての接続を一旦解放してから、概ね「5分程度」を目安に、バッテリー仕様電圧値と同じか、もしくは若干高い電圧を強制印加してください。

(過電圧保護遮断回路が動作したときの復帰方法)

一時的な遮断となりますので、充電端子からチャージコントローラー・インバーターなどの接続をすべて開放すれば直ちに復帰します。遮断時は直ちにこの作業を行ってください。

以上